



ランボルギーニ・ウラカン EVO を発表 さらなる技術の向上でドライビング・プレジャーを最大限に

- 新デザインにより空力性能が向上
- ビークルダイナミクス制御の予測ロジックを備えた初のランボルギーニモデル：
全輪駆動、全輪操舵と併用の、完全に一体化されたランボルギーニ・ビークル・ダイナミクス・
制御システムが、応答性、機敏さ、運転しやすさのパラメータを再定義
- 出力 640 hp、トルク 600 Nm のウラカン・ペルフォルマンテのエンジンを採用
- 先進のコネクティビティ機能を備えた新インフォテイメント・システム

【2019年1月8日 サンタアガタ・ボロネーゼ】

アウトモビリ・ランボルギーニは、ウラカン・ペルフォルマンテの優れた性能を基に次世代車両力学制御と空気力学を取り入れた、次世代の V 型 10 気筒スーパースポーツカー、ランボルギーニ・ウラカン EVO を発表します。

アウトモビリ・ランボルギーニ CEO のステファノ・ドメニカリは次のように述べています。「ランボルギーニは、最高レベルのスーパースポーツカー技術とドライビング・エモーションへの進歩をリードするために全力を注いでいます。それが新型ウラカン EVO のエッセンスなのです。それにはウラカン・ペルフォルマンテの並外れた能力が必要であり、日常のウラカンでのドライブを充実させる最先端の車両力学性能が集結しています。ウラカン EVO はまさに進化の具現化です。一歩先を行き、セグメントのパラメータを再定義します。非常に運転しやすいと同時に、あらゆる環境で最も応答性が高く、快適なドライビングを実現いたします。」

技術の進化がドライビング・エモーションに彩りを与える

ウラカン EVO は、5.2 リットルの自然吸気ランボルギーニ V 型 10 気筒エンジンを特徴とし、出力を向上させ、感情を高揚させるパワフルなサウンドを生み出すために、チタン製空気バルブを採用し軽量排気システムの改良を行いました。ウラカン EVO の出力は 8,000 回転時に 640 hp (470kW) で、6,500 回転時に 600Nm のトルクを実現します。乾燥重量は 1,422 kg で、パワーウェイトレシオは 2.22 kg/hp に達し、停止状態から 2.9 秒で 100 km/h に加速、9 秒で 200 km/h に加速します。100 km/h の速度からわずか 31.9 m で停止し、最高速度は 325 km/h を超えます。

ランボルギーニ・ディナミカ・ヴェイコロ・インテグラータ (LDVI)

ウラカン EVO の特徴は、新しいランボルギーニ後輪操舵と四輪に作用するトルク・ベクタリング・システムです。一方、車両の中心にあるのは、新機能であるランボルギーニ・ディナミカ・ヴェイコロ・インテグラータ (LDVI) です。これは車両の動的挙動の全側面を制御する中央処理装置で、車両のダイナミック・システムと設定のすべてを完全に統合し、ドライバーの次の動きとニーズを予想して、完璧なドライビング・ダイナミクスを判断します。

ランボルギーニ・ピアッツァフォルマ・イネルツィアーレ (LPI) は、車両の重心に配置した包括的な一連の加速時計とジャイロスコープセンサーで、バージョン 2.0 にアップグレードされました。精度の向上により、横方向、縦方向、垂直方向の加速と、横揺れ、上下動、ヨーレートに関して、車両の動作をリアルタイムでモニターします。バージョン 2.0 にアップグレードされた磁性流体サスペンションは、LPI からのインプットに従って、瞬時にダンピングを適応させます。



新しい先進トラクション・コントロール・システムが、強化された全輪駆動とトルクベクタリングと共に、必要に応じて1つの車輪にトラクションを向けることを可能にします。必要とするステアリング角を最小にしつつコーナーで高い応答性の確保が可能な、改良されたランボルギーニ・ダイナミック・ステアリング(LDS)には、今回、低速度での機敏さを確保するとともに、高速コーナリング時と最も厳しい条件下での制動時に最大の安定性を確保するために、後輪操舵を組み合わせました。

これら全システムの独自の組み合わせは、ランボルギーニのLDVIにより制御され、比類ない制御レベルを備えた極めて機敏で応答性の高い車両を生み出します。

ウラカン EVO はデータをリアルタイムで処理することで、ステアリングホイール、ブレーキ、アクセルペダルのインプット、連結されたギア、ANIMA コントローラにより選択されたストラダ、スポーツ、またはコルサの運転モードといった情報を通じて、ドライバーの意図を認識します。車外の状態は、アクティブサスペンションと全輪駆動グリップ推定機能によって判断されます。

この情報はすべて LDVI が分析と処理を行います。LDVI はこの情報を、車両ダイナミック・システムへの正確なインプットに転換します。ダイナミックコントローラを通じて「フィード・フォワード・ロジック」が実行されます。これは車両が単に反応するだけでなく、ベストな運転設定を予想することを意味します。

ストラダ・モードでは、機敏さを発揮し、運転の楽しさを実現します。一方スポーツ・モードでは、遊び心に溢れ極めてエキサイティングなドライビングが楽しめます。

コルサ・モードでは、サーキットなど最も極限の運転状況で、シャープで応答性が高く爽快な車になります。

デザイン - 空力性能の卓越性

特徴的なデザインは卓越した空力性能を定義し、ウラカン EVO のドライビング・ダイナミクスを向上させます。新しいフロントバンパーは、車高が低く積極的なパーソナリティをこの車にもたらしませんが、より重要なのは、一体型ウイングを備えたフロントスプリッターによる空力効率の確保です。大型化したエアインテークは、ランボルギーニデザイン DNA に受け継がれるイプシロンの形状を特徴としています。

ウラカン EVO の側面の外観はダイナミックで、窓に取り入れたランボルギーニらしい六角形のデザイン、新デザインのホイールと新たなサイドエアインテーク周辺を特徴としています。

ウラカン EVO の内に秘めたパワーとダイナミズムを最も顕著に想起させるのは、車両後部です。車両のリアバンパーの高い位置に、ウラカンのレースカーモデルに見られるワイドでオープンなむき出しのリアを反映した、新スポーツエキゾーストシステムのツインアウトレットが配置されています。

テールの上端では、スロットのある一体型スポイラーがエアフローを向上させ、この車の空気力学的能力を明確に主張しています。ウラカン EVO の空気力学性能はアンダーボディでも継続されます。

アンダーボディは空気力学効率を最大にする形状になっています。ウラカン EVO の新しい一体型エアロダイナミックスタイリングにより、ダウンフォースと空気力学効率は、第一世代のウラカンの 5 倍以上に向上しています。

デザイン全体だけでなくエキゾーストからのノートにおいても、ウラカン EVO の存在感と目的が、この最新ランボルギーニモデルのパワーと動力性能の向上を反映した、スーパーエキゾーストサウンドと共鳴しています。



コネクティビティ

センターコンソールのスタートボタンのすぐ上に配置された、新しい 8.4 インチ HMI 容量性タッチスクリーンにより、ドライバーはマルチフィンガージェスチャーコントロールを通じて、手元でコネクティビティを利用することができます。シート、温度調節、LDVI システムの状態などの車両の機能をリアルタイムで制御しており、Apple Car Play などのあらゆるインフォテインメントへ自由にスマートフォンとつなげることも可能です。マルチメディアシステムには、コネクテッド・ナビゲーションおよび Web ラジオ・動画プレイヤーなどのエンターテインメントが組み込まれています。直感的なインターフェースで音声による操作が可能となっており、ドライバーはいつでも Siri を使うことができます。オプション装備のデュアル・カメラ・テレメトリ・システムもタッチスクリーンを通じて提供され、先進テレメトリ・レコーディングと分析が可能となります。一体型大容量ハードディスクを装備することもできます。

カラー／トリムとランボルギーニ・アドペルソナム

今回、象徴的なランボルギーニの四層の新色・Arancio Xanto 色で、ウラカン EVO を発表します。ピレリ P ゼロタイヤが EVO 専用の新しい 20 インチの Aesir 色のリムを引き立たせます。内装はアルカンターラ色の専用の新 EVO トリムとレザーの組合せを特徴としており、Arancio Dryope 色のディテールがボディのトーンにマッチしています。スポーティでエレガントな新トリムは、多数のバイカラーとトリムのオプション、ならびに極めて陽気なアルカンターラ色のオプションを備えています。ご要望に応じて、カーボン・フォージド・コンポジットや特許を取得したランボルギーニのカーボン・スキンなどの軽量素材を使用することが可能で、カスタマイズ可能なキャビン内の新アンビエントライト・フィーチャーが、これらを際立たせます。ウラカン EVO の内装と外装はスペックの可能性を最大限にするべくデザインされており、光沢ブラックの幅広いスタイルパックとボディカラー、ならびにオーナー様をご自身のランボルギーニをカスタマイズできる、ランボルギーニのアドペルソナム・プログラムなど、幾つかの新オプションが設定されています。

2019 年春から順次デリバリー予定です。

日本での価格は 2,984 万 3,274 円 (税抜)です。



技術データ - ランボルギーニ・ウラカン EVO

シャシーとボディ

シャシー	アルミニウムおよびカーボン・ファイバー製ハイブリッドシャシー
ボディシェル	アルミニウムおよび複合材料製外板
サスペンション	アルミニウム製ダブルウィッシュボーンサスペンション
スプリングとダンパー	鋼ばねと油圧ダンパー MagneRide 電磁ダンパー制御
横滑り防止装置 (ESC)	ESC/ABS の特性は ANIMA を通じて調整可能 ESC は解除可能
ステアリング	電動パワーステアリング 可変ステアリングレシオを備えた LDS ステアリング
ブレーキ	真空ブレーキサーボユニット付き 2 系統式油圧ブレーキシステム 6ピストンアルミニウム製キャリパー(フロント) 4ピストンアルミニウム製キャリパー(リア)
ブレーキディスク	カーボンセラミック・ディスク、ベンチレーテッド型、クロスドリル フロント \varnothing 380 x 38 mm、リア \varnothing 356 x 32 mm
タイヤ (標準)	ピレリ P ゼロ 245/30 R20 (フロント) - 305/30 R20 (リア)
ホイール (標準)	8.5J x 20 インチ (フロント) - 11J x 20 インチ (リア)
ミラー	電気制御エクステリア・ミラー
エアバッグ	フルサイズ デュアル・ステージ フロント・エアバッグ フルサイズ・サイド・エアバッグ 一部の市場ではニーエアバッグ
エンジン	
タイプ	10 気筒 V 型、90°、IDS+MPI デュアル・インジェクション
排気量	5204 cm ³ (317.57 立方インチ)
ボア / ストローク	\varnothing 84.5 mm x 92.8 mm (3.33 x 3.65 インチ)
バルブ制御	連続可変調整のインテークおよびエキゾーストカムシャフト
圧縮比	12.7 : 1
最高出力	8,000 回転 (rpm) 時 470 kW / 640 hp
最大トルク	6,500 回転 (rpm) 時 600 Nm (442 lb. ft.)
エミッションクラス	EURO 6 - LEV 3
排気処理	ラムダ規制付き触媒 2 個
クーリング・システム	水冷式及び油冷式クーリング・システム
エンジン管理	ボッシュ MED 17 マスター・スレーブ
潤滑	ドライサンプ



ドライブトレイン

タイプ	電子制御全輪駆動システム (Haldex Gen. V) リアに機械式セルフロックングディファレンシャルを装備
トランスミッション	7 速 LDF デュアルクラッチ・トランスミッション、シフト特性は ANIMA により変更可能
クラッチ	ダブルプレートクラッチ \varnothing 187 mm (7.36 インチ)
パフォーマンス	
最高速度	> 325 km/h
0-100 km/h	2.9 秒
0-200 km/h	9.0 秒
制動距離 (100-0 km/h)	31.9 m
寸法	
ホイールベース	2,620 mm
長さ	4,520 mm
幅	1,933 mm
幅	2,236 mm
(エクステリアミラーを除く)	
高さ	1,165 mm
トラック・フロント	1,668 mm
トラック・リア	1,620 mm
回転半径	10.9 m
乾燥重量	1,422 kg (3,047 lb)
パワーウェイトレシオ	2.22 kg/hp (4.76 lb/CV)
重量配分	43 % (フロント) - 57 % (リア)
容量	
燃料	83 リットル
トランク	100 リットル
燃料	燃料消費量及び排出量データは型式認証取得中

本モデルはまだ販売されていません。型式認証を取得していないため、ディレクティブ 1999/94/EC の規制を受けません。

Press Release



アウトモビリ・ランボルギーニ S.p.A.

本社

Head of Communications
Gerald Kahlke
T +39 051 9597611
gerald.kahlke@lamborghini.com

Brand & Corporate Communications
Clara Magnanini
T +39 051 9597611
clara.magnanini@lamborghini.com

Product Media Events & Collezione
Rita Passerini
T +39 051 9597611
rita.passerini@lamborghini.com

Corporate Media Events
Chiara Sandoni
T +39 051 9597611
chiara.sandoni@lamborghini.com

Motorsport Communications
Francesco Colla
T +39 051 2156850
extern.francesco.colla@lamborghini.com

Polo Storico & Heritage
Massimo Delbò
T +39 3331619942
massimo@delbo.us

Regional Offices

Europe, Middle East & Africa
Emanuele Camerini
T +39 342 567 5842
emanuele.camerini@lamborghini.com

Asia Pacific
Silvia Saliti
T +65 9651 8955
silvia.saliti@lamborghini.com

North & South America
Jiannina Castro
T +1 703 3647926
jiannina.castro@lamborghini.com

United Kingdom
Juliet Jarvis
T +44 1933 666560
juliet@jic.uk.com

Japan & South Korea
Kumiko Arisawa
T +81 804 606 0487
kumiko.arisawa@lamborghini.com

Middle East & Africa
Zantelle Van der Linde
T +971 56 522 1545
zantelle.vanderlinde@lamborghini.com

Greater China
Nancy Rong 荣雪霏
T +86 10 6531 4614
xuefei.rong@lamborghini.com

Eastern Europe & CIS
Tamara Vasilyeva
T +7 499 957 6706
tamara.vasilyeva@lamborghini.com

Greater China
Hu Jiayi 胡佳翼
T +86 10 65315431
Jiayi.Hu@volkswagen.com.cn

South-East Asia & Pacific
Alethea Tan
T +658711 1329
alethea.tan@lamborghini.com